

こんにちは 2021年

12月号

いのちを敬い いのちを愛し いのちに仕えることによって 神の愛の実現に奉仕する

HP / <https://www.shalomwakaba.com>

令和3年12月15日発行

1. タイトル
2. 鳥の名前
3. 撮影場所
4. 撮影者



1. 「松の実」
2. イスカ
3. 銚子市
4. 川面實



1. 「命を繋ぐ」
2. カワセミ
3. 四街道市
4. 田原巖

野鳥大好き
四街道写真倶楽部



1. 「水浴びに来た」
2. キビタキ
3. 群馬県
4. 宇津木彰雄



1. 「捕獲」
2. カワセミ
3. 四街道市
4. 石屋正幸



「デイサービス作品展」個人作品紹介（ちぎり絵・工作・塗絵等）



↑ 壁飾り
色紙を使用
← トイレットペーパーの芯を使用



水彩塗絵



和紙
ちぎり絵



塗絵

シャローム若葉 各サービス空き情報

訪問介護	(月)△ (火)○ (水)◎ (木)○ (金)○ ご希望に副える様対応させていただきます。	虹の家	現在、満床ではありますが、本入居の為には入居受付が必要となります。随時受け付けておりますので、ご連絡下さい。
デイ	ご利用希望の方は、曜日・入浴等ご相談下さい。随時、状況をお知らせ致します。また、見学希望につきましては、発熱など風邪症状が無い方でしたら見学いただけますのでお問合せ下さい。*要支援の定員はいっぱいとなっております。		

発行：社会福祉法人 三育ライフ



理事長：東海林 正樹
 施設長：高幣 義嗣
 広報委員会：
 岩井由紀子・芳賀卓
 田野希・小野裕美
 お問い合わせ先：
 info@shalomwakaba.com
 HP: <http://www.shalomwakaba.com/>

シャローム若葉 桜木本部	電話番号	FAX 番号
管理部門	043-234-5111	043-234-5119
児童デイサービス STEP+ (休止)	043-312-6655	043-234-5119
第2 居宅介護支援事業所	043-308-8588	043-234-5119
シャローム若葉 若松事業所	電話番号	FAX 番号
デイサービスセンター	043-235-4866	043-235-4850
若葉放課後等デイサービス	043-235-4865	043-235-4850
グループホーム虹の家	043-235-4867	043-235-4868
居宅介護支援事業所	043-214-3450	043-234-8411
訪問介護事業所	043-214-5567	043-234-8411
福祉用具貸与事業所	043-309-8598	043-234-8412
シャローム若葉 区役所前事業所	電話番号	FAX 番号
千葉市あんしんケアセンター桜木	043-214-1841	043-214-8787

【編集後記】今年も後1ヶ月を切りました。皆さんは今年、抱負をたて達成しましたか？私は今年「何か1つ資格取得をする」ことを抱負にしていました。3日坊主な私ですが「介護口腔ケア推進士」という資格に挑戦しました。コロナ禍でも出来る事に、来年も挑戦していきたいと思ひます。N・T



デイサービス作品展 ~2021~



11月22日～26日にデイサービスでは作品展を行いました。「共同作品」の来年の干支のちぎり絵、個人作品、書道、クリスマスの飾

地域と福祉のあんしん懸け橋

私は、教会とは何の関係もない環境で育ちました。しかし、毎年クリスマスが近づくと、なんだか心がウキウキして、楽しい気持ちになりました。私にとってクリスマスとは、ケーキとケンタッキーが食べれる日という意味でした。

それから、思春期になるとクリスマスの意味合いが変化してきました。テレビや友人の影響で「好きな人と一緒に過ごす日」となり、恋人のいる友人を恨んだものです。それが聖書を知る前に私が抱いていたクリスマスのイメージでした。

従来のクリスマスの意味は、勿論、イエス・キリストの誕生をお祝いする日ですが、実は、12月25日ではないようです。生まれた日にちは不明ですが、昔の人の都合で25日に生誕祭としてお祝いすることとなりました。

私たちが日頃、使っている西暦もイエス様が生まれる前と後で区切られているのですからすごい影響力です。イエス様がお生まれになる700年ほど前に書かれたイザヤ書7章4節「それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。」と預言された通りにこの世に神の子イエスがお生まれになりました。

イエス様がこんなにも待ち望まれていたのは、人は本当の愛が欲しいからではないかと思ひます。最高の愛は、「自分の命よりもあなたの命を優先します。」というものです。こんな最高の愛に包まれないと思ひませんか。イエス様は、自分を愛する方法、隣人を愛するお手本を示してくださいました。

人は、生まれながらに身勝手な性質で自分にはない愛を体得するには、大きな葛藤が生じます。しかし、聖書に書いてある言葉を生活で使ってみると、これまた、楽になったり、幸せな思いになったりと沢山のプレゼントが貰えます。

クリスマスは、愛されている喜びを味わう日です。キリストは私たちのためにこの地球に来てくださいました。私たちと一緒に過ごしたいと神の子が申し出た事を記念する、嬉しい日を一緒に祝ひましょう。



セブンスデー・アドベンチスト
 千葉キリスト教会
 牧師：小濱 守宏

Christmas

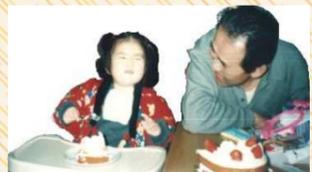


※日本人は、もともとクリスマスにケーキを食べることは根付いていませんでした。そこでお菓子の老舗メーカーの不二家が1922年に初めて日本でクリスマスケーキを販売し、「クリスマスにはケーキを食べましょう！」と習慣づけるようにマーケティングを図ったのだとか。スポンジケーキに生クリームをぬって砂糖でできたサンタさんや家などが飾られたもの、いちごがデコレーションされたもの、定番のケーキの基本は不二家さんが作ったものだそうです。しかし当時は高価で一般市民が購入できるものではなかったようで、1922年という大正時代末期ですので、まだ日本には定着していなかったのも納得です。一般的にクリスマスケーキが広まっていったのは、昭和50年代(1975年あたり)からだそうですよ！

ということで！ 今月号は、「我が家のクリスマスの過ごし方」と題してシャローム若葉職員のクリスマスの過ごし方をご紹介します。

【父のクリスマスツリー】

昔の我が家のクリスマスです。自宅で両親は飲食店を営んでおり、店の雰囲気とちょっと違う気がしましたが、店内にツリーを飾っていました。



私が小学生の頃は毎年父が、子どもの背丈ほどあるもみの木を買ってきます。それを鉢に植え店に置くと、私達兄妹は箆笥の上にある飾りを持ち出しツリーに装飾をします。サンタクロスやキラキラしたモールに玉、雪に見立てた綿をのせたり、年々飾りが増えていきました。中でもお気に入りだったのはカラフルな電飾。暗闇でも光るツリーがとてもきれいで大好きでした。今思うと、本物のもみの木を買う父は気合が入っていたなと感じます。

年月が経ち私の娘が誕生した年の12月、父は小さなクリスマスツリーセットを娘にプレゼントしてくれました。内心私は「柄にもない」と感じましたが、ふと昔、もみの木を買ってくる父を思い出しました。父自身クリスマスツリーが好きだったのかな、と思いました。今年の12月は父の七回忌になり、お仏壇の前にクリスマスツリーを飾ろうと思います。



千葉市あんしんケアセンター桜木
生活支援コーディネーター
大木朋子



【我が家のXmas】

12月24日 我が家の夕食は、毎年、トマトと卵のスープ、ポテトサラダ、鶏のから揚げが定番で食卓を彩っています。子供たちにとっては、Xmasプレゼントが楽しみの一つ、サンタクロースは、いるのか？いないのか？「きっと、いてくれる！」と信じている子供たち。

そんな中で、おじいちゃん、おばあちゃんも両家にとっての初孫には「欲しいものを買ってあげたい」と言う思いがあります。クリスマス前に、子供たちには両家の祖父母からとパパとママから、合計3つのXmasプレゼントが手元に届いてしまいます。さてさて、サンタクロースは？ 25日の朝 子供たちの枕元には、サンタさんから必ず本が届いていました。

英語で「Merry Christmas」と書かれたカードが添えられて。本が届いている間？「サンタクロースは、いる」のだと信じてやまなかった子供たち。今は、と言いますと娘サンタから毎年、新しいパジャマが届いて、ぬくぬくしたお正月を迎えることが出来ている幸せママです。



シャローム若葉
第2居宅介護支援事業所
管理者・主任介護支援専門員
森川裕美



【西田家のクリスマス】

クリスマスの過ごし方には2つあり、ひとつは、家族とのクリスマスです。家族全員で飾り付けに参加し、出来るだけ派手な装飾品を飾り付けています。ケーキは、何故か3ホール用意します。(ホワイトクリーム、チョコクリーム、フルーツ)の3種類です。購入しない場合は、手作りします。肝心のプレゼントは、事前に家族会議を開き、欲しい物を確定させます。プレゼントは、当日に交換するのが、西田家の決まりです。

二つ目は、私と友人とのクリスマスの過ごし方です。まず、クリスマスイブまでに美味しい食べもの、お酒、パーティグッズ、コスプレ用着ぐるみを準備します。パーティ当日は着ぐるみを着て、気持ちを高揚させ、楽しい雰囲気の中で、友人とプレゼント交換をします。ケーキはそこそこに、酒盛りがスタートします。TVで「帰れま10」という番組がありますが、同様に先に酔いつぶれる人が出るまで、「酒盛りは終わるま10」。それから、酔いも手伝ってか、恋愛トークが始まります。小・中・高での恋愛エピソードや社会人になりたて時の昔話に花が咲き、友人との楽しいひと時です。現在は、コロナ禍という事で、静かなクリスマスを過ごしていますが、又、一日も早くワイワイとはしゃげるクリスマスを過ごしたいものですね。



若葉放課後等デイサービス
児童指導員
西田隆一朗



【クリスマスの思い出】

思い出のクリスマスを私の長い人生の中から切り取りました。幼少期、両親からのプレゼントが枕元にあり、木目込みの羽子板が妹と二人分置いてあった事、今でも嬉しかった思い出です。現役で仕事をしている時、仲良し二人の同僚と盛岡近郊のスキー場ですべり、温泉に入り、行ってみたいかったステーキハウスで食事をし、独身貴族だネ、なんて！言い合っていた寂しい独身の頃の思い出です。

結婚し、千葉に来てからは息子二人の母になり、クリスマス料理に頑張ってきました。息子二人は、ミッション系の幼稚園でしたので、親子で参加したクリスマス会はとても感動した事を今でもクリスマスが近づくと思い出されます。私にとって、クリスマスは家族が一つになって楽しめたイベントでした。



シャローム若葉
デイサービスセンター
看護師
亀ヶ澤喜美子



【渡邊忠明家のクリスマス】

渡邊家のクリスマスは、いつと決まっているわけではなく、23~25日の間に行われます。自治会飲み会の日程が優先されるので、飲み会の日程と被らないよう調整して、お祝っています。ここ数年は、小さなツリーを飾っています。ツリーを飾りながら猫が嬉しそうにじゃれている光景が、ここ数年の恒例のクリスマス準備風景となっています。特にクリスマスだからといった特別なイベントはありませんが、家族それぞれの好みに合わせたケーキを購入したり、夕食の品を1品増やしたり、唐揚げを多めに揚げたりしています。

それぞれがゆったりとした気持ちで過ごせる日になるようにと願い、準備しています。



シャローム若葉
居宅介護支援事業所
主任介護支援専門員
渡邊忠明

